

第 32 回横浜環境活動賞表彰式
横浜環境活動賞審査委員会 戸川委員長 講評

皆様、こんにちは。横浜環境活動賞審査委員会 委員長を務めさせていただいております戸川と申します。このたび「横浜環境活動賞」を受賞された皆様、誠におめでとうございます。

大賞・特別賞の受賞者の皆様について、簡単ではございますが講評させていただきます。

まずは、市民の部でございます。大賞を受賞されました「名瀬谷戸の会」様、おめでとうございます。

平成 27 年から 10 年以上活動されており、実際の里山の保全活動と併せて、地域の企業との連携、地域のこどもたちとの連携、そして自然の豊かさや楽しさ、生活とのつながりなどを環境教育等に取り込んでいます。産官学民というネットワークのハブを務めていただいている点を、高く評価させていただきました。模範的な事例として、横浜市内にどんどん発信していただきたいと思っております。今後とも更なる活動を期待しておりますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、企業の部でございます。大賞と生物多様性特別賞をダブル受賞されました「中外製薬株式会社 中外ライフサイエンスパーク横浜」様、おめでとうございます。

敷地内に、地域の在来種を中心とした緑地を創出し、事業所の周辺と一体感のある緑地を作っていただいております。そして、地域への開放など地域との共生を大切にしており、地域団体との交流もあります。また、生物多様性の意識づけを社内でしっかりと実施されており、その点が、生物多様性特別賞の受賞につながったと思っております。

今回、生物多様性と地域での活動が注目されていますが、もう一つ僕が個人的に大変すばらしいと思った点があります。今、企業は自分たちが実施している環境活動・社会活動・企業のガバナンスについて、見せる化・見える化して発信していかなければなりません。これを ESG Environment Social Governance と言い、中外製薬様はその見える化・見せる化をものすごくしっかり行っています。ライフサイエンスパーク横浜様だけが行っているわけではなく、中外製薬様全体で取り組まれており、世界から評価される仕組みに、早くから非常に熱心に取り組まれている企業様という点を評価させていただきました。本当におめでとうございます。

次に、児童・生徒・学生の部でございます。大賞を受賞されました「横浜市立新治小学校」様です。梅田川や新治市民の森など、地域の特性や資源を生かした生き物調査などを行っており、地域の団体や行政と連携して活動している点や、保護者や地域に向けて情報発信することで、地元の自然に関心を寄せる機会を創出している点を高く評価しました。そういった取組は、環境活動について非常に重要だと思っておりますので、今後とも活動の発展を期待しております。

最後に、審査委員会特別賞を受賞されました「藤井 景心」様です。おめでとうございます。ビーチクリーンの活動をきっかけに、自分の興味から、海洋プラスチックを研究されており、その内容を等身大で発信することで、「海のごみ」問題をより身近に考えるきっかけを創出しています。ポスターコンクールにも出されていて、内閣総理大臣賞も受賞されています。また、YouTubeでは、アップサイクルでアートを作って、情報発信をしています。一つの活動ではなく、自分の得意分野で次の活動につなげるという、非常に素晴らしい事例と思っております。

今回も素晴らしい活動を審査させていただきました。全ての受賞者の皆様に審査委員会でのお話をお伝え出来ないのが本当に心苦しいですが、是非ともこれからもエネルギッシュな活動を続けていただきたいと思いますと思っております。

皆様、本日は誠におめでとうございます。皆様の今後のさらなる活躍を期待し、横浜環境活動賞審査委員会からの講評とさせていただきます。ありがとうございました。